

MFCAセミナー (国際標準化進捗状況等報告会)

～廃棄物を物量とコストで見える化して削減するMFCA～

日時

2010年12月2日(木)
13:30～16:30(13:00受付開始)

MFCAによる材料使用量の削減の取り組みが広がっています。

MFCA (Material Flow Cost Accountingの略称)は製造プロセスにおける資源やエネルギーのロスに着目して、総合的にコスト評価を行います。MFCAは、マテリアルのロスを物量とコストで見える化し、ロス削減に大きな威力を発揮します。皆さんご存知のように、日本においては、経済産業省のプロジェクトを中心におよそ300を超える事例があります。

MFCAは、ISO14051として発行されます。

MFCAはISO14051として、2011年に発行されようとしています。この国際標準化のプロセスにおいては、日本が提案し、日本がイニシアティブをとって進められています。

本報告会では、MFCAの国際標準化進捗状況の報告と共に、ISO14001とMFCAとの関係、最新のMFCAの導入事例を紹介し、企業におけるMFCA実施の意義と、その方法をお伝えします。

場所

愛知県産業労働センター
ウインクあいち 1202会議室

住所：愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

アクセス

名古屋駅(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)より徒歩約2分



主催

(株)日本能率協会コンサルティング

プログラム

| | | |
|-----------------------|--|---------------------------------|
| 13:30 - 13:55 | ・MFCAの概要と経済産業省の事業紹介 ・日本におけるMFCA適用状況解説 ・講師紹介 | (株)日本能率協会コンサルティング |
| 13:55 - 14:40 | ・企業の環境対応に向けてのMFCAの期待、意義 ・MFCA国際標準化進捗状況説明 ・ISO14001とMFCA(ISO140051)との関係解説 | 東和薬品(株) 生産本部 生産管理部 次長 河野裕司 氏 |
| 休憩 | | |
| 14:50 - 15:20 事例発表 | サプライチェーン企業間のMFCAによる省資源化の 取り組み事例報告 (2009年度経済産業省サプライチェーン省資源化連携促進事業) | フルタ電機(株) 代表取締役社長 古田成広 氏 |
| 15:20 - 15:50 事例発表 | 企業単独のMFCA適用の拡張事例、進化事例 ～金属加工工程へのMFCA導入による「ロスの見える化」～ | サンデン(株) 環境推進本部 渡辺一重 氏 |
| 15:50 - 16:20 | ・MFCA導入と活用の考え方、進め方の紹介 ・MFCAの進化の考え方 | (株)日本能率協会コンサルティング |
| 16:20 - 16:30 | 質疑応答 | |

プログラムは事情により変更する場合があります

【お申込み専用ページ】

MFCA国際標準化進捗状況等報告会(12月2日:名古屋会場)

<http://www.jmac.co.jp/service/event/detail.php?cid=517>

申込方法

上記ページの受付フォームに必要な事項を入力の上、送信してください。
後日送付いたします参加証は、会場にお持ちになり受付係員にお渡しください。

受講料

無料

お問合せ

株式会社日本能率協会コンサルティング MFCA事業事務局(下垣、中村、増田)

Tel: 03-3434-7332(代表) E-mail: mfca_eco@jmac.co.jp

- 本報告会参加申込に際して得た個人情報は、主催者の事業活動におけるセミナー、イベント、アンケートのお願いなどに活用させていただくことがあります。
- 主催者は、収集した個人情報を適切に取り扱い、第三者への提供は行いません。
- 個人情報の訂正、削除などを希望される場合には左記お問い合わせ先までご連絡ください。